

ホームページ掲載による国民からの提案

項 目	件 数
A 事業内容	235
B 施設内容・規模等	112
C センターの管理運営	83
D その他全般	230
提案人数(法人含む)	387

*A～Dについては複数回答のため、A～Dの合計と提案件数は一致しない。

A. 事業内容の意見（235件）

展示

〈展示内容〉

- メディア芸術祭入賞作の常設展
- 時代とともに移り変わるメディア芸術の展示
- 古代と現代とのつながりを示す展示
- 毎月著名なクリエイターを選び、企画展の開催やトークショー、サイン会を行う
- 著作権の切れたもの、現在では入手困難なものを重点的に展示
- オタクと一般の人の両者に対応したものとする
- コンサート、サイン会、講演会の実施
- 海外のマンガ、アニメの収集・展示
- 海外でも著名なマンガ・アニメ作品の展示
- アニメ、マンガ、ゲームの新作発表会の開催
- アニメやゲームに出てくる建物や道具を再現して展示
- アニメーターや漫画家がセンター用に書いたサイン色紙の展示
- アニメやマンガの記念日にあわせたイベントの開催
- 実寸のキャラクターの展示
- 期間限定で展示されている実寸「機動戦士ガンダム」の移設
- 企画展を実施し、期間限定で様々なフィギュア、模型等も展示
- マンガやアニメに影響を受けた科学技術・研究を紹介・解説
- 戦前からの制作現場の再現
- ファンの人が作った作品の展示
- コミケと連携したイベントの実施
- 浮世絵等マンガの原点になっているものの常時展示
- 貸本時代からマンガ雑誌創設の時代背景についての展示
- マンガ家の仕事場の再現や写真での展示
- 道具や作業過程の写真の展示
- マンガの製作過程に関する映像の上映
- 館内に「トキワ荘」を再現する
- 日本発のアニメーション作品祭の開催
- 有名アニメーターの特徴ある動画の映像が見られるコーナーを設ける
- 各国で放送されている日本のアニメの比較紹介
- 日本のアニメの舞台となっている街の紹介
- アニメのアフレコ体験
- コスプレ体験と記念撮影ができるコーナーを設ける
- コスプレ等身体表現できる上演舞台を設ける
- キャラクターとの合成写真が取れる写真館を設ける
- ゲームの歴史の展示
- CMの視聴ができるコーナーを設ける

- 「ニコニコ動画」や「YOU TUBE」と連携した動画の上映

〈展示方法等〉

- 展示内容を頻繁に変更する
- 関連企業との協賛イベントの開催
- 既存の施設と連携して展示会を行う
- 仏・マンガ博物館等の他機関と連携したイベントの開催
- アトラクションを設置するなどエンターテインメント性を高める
- 年齢制限の必要な作品を取り扱う場合は、専用のフロアを設ける
- 全国巡回を実施する
- 一回に入場できる人数を制限する
- 外国語での標記
- 企画展を開催する際は、来場者やHPで展示内容についてのアンケートを行い、ニーズを踏まえる

収集・保存

- アニメ、マンガのセル画・原画の保存。作品自体はデジタル化して広く閲覧が可能となるよう整備
- デジタルアーカイブを中心として、各地で現物を分散保管
- 収蔵場所については、各地への浸透を図る観点から、分散化すべき
- アニメについては、店頭で簡単に購入できるものは保存せず、原画等の制作の素材を保存
- 研究者が、原画の研究が可能な施設とする
- アニメ誌、攻略本、サントラCD等の資料も収集
- メディア芸術関連の雑誌とバックナンバーの保存、記事内容のデータベース化
- マンガやアニメ等のアイデアの素となった文学作品等の活字メディアも収集の対象とすべき
- CMに使われたアニメ、マンガの収集・展示
- 同人作品の収集・保管
- 海外の作品の積極的な収集。対比することで「日本的」なるものを際立たせる
- 歴代のゲームのハードの収集・展示
- 時代を代表する大型筐体ゲームの実機を保存
- MSX（パソコン）等ゲーム専用機ではないコンピュータを使用したゲームについても保存
- シナリオや設定資料の収集
- 広く発表・商業化された全ての作品の収集
- 保存作品の細かい分類、データベースの整備
- 稀少書籍、絶版本の保存・データ化

- 国会図書館に納本されたマンガの移管
- 廃止が決まった施設からの資料の受け入れ
- 国会図書館、国立公文書館、コミケット準備委員会、明治大学米澤 嘉博記念図書館との連携
- 貸し出しはせずに閲覧・複写を可能とする
- 作品のアーカイブにとどまらず、著作権所持者の追跡調査を行う
- マンガ等の紙資料やゲームの再生機器の保存・修復ができる人員の配置が必要

普及啓発・人材育成

- 民間のアニメ制作会社やテレビ局と連動した人材育成。関連企業が講師を務めてアニメーションを製作し、施設内でのみ上映
- 才能のある人を発掘し、最高の教育を行い作品の製作も行う研修所・スタジオ機能
- セル画作成教室の実施
- CGの製作体験できるコーナーを設ける
- アニメーターによるワークショップの開催
- コンテツクリエイター、研究者のための育成セミナーの開催（専門学校等と協力）
- ワorkshop等の実施による技術・技法の交換と普及
- 漫画の書き方、同人誌の書き方、シナリオ講座、アニメーター講座、演出家講座等の基礎講座の実施
- 来場者参加型のマンガ・アニメ教室（あらゆるジャンルの講師を雇う）の実施
- 学芸員の養成
- アニメーター等の仕事ぶりが分かるコーナーを設ける
- 制作に必要な器具も使用可能な作業スタジオの設置
- 学生向けの無料コンテツ配信サービスの実施
- 期間限定でアニメスタジオを誘致して製作現場として活用
- センターでのアニメ作成
- フリーランスのアニメーター等の交流会
- 表現者と一般ユーザーとの交流の場を設ける
- 若い人たちの交流の場がほしい
- 国内のみならず、海外の大使館等とも連携してイベントの情報を提供
- 関連施設のデータベース化
- 多言語対応するセンターのウェブサイトの開設（施設紹介、イベント告知、グッズ通販）

調査研究

- メディア芸術の進歩についての研究
- メディア芸術が生まれる背景を明らかにする研究
- 海外における日本文化の浸透度の調査
- 海外における好評・不評調査
- クリエイターの労働状況の調査
- 作品の関係者の証言を映像で記録する
- マンガの歴史・文化の調査研究
- マンガの紙に代わる配信媒体の研究
- アニメ製作手法の研究
- ビデオゲーム理論の研究
- 各大学や研究施設に研究室を貸し出し、資料を閲覧させる
- 海外の研究者に対する一次資料の提供
- 海外への情報発信やメディア芸術の研究分野としての確立のため、海外の研究者への研究助成を行う
- 調査研究を行う人材の公募
- 日本マンガ学会や日本アニメーション学会等の研究機関との連携

その他

- アニメに関する支援事業の実施（個人製作者や業界への助成、製作主体に対する研修、著作権に関する研修、大学・大学院教育における学外研修場所の提供、一般国民への講座の場所としての提供、工房・アトリエとしての提供、海外など渉外契約に関する指導助言、各分野に関する海外との間の翻訳・通訳業務の代行や支援等）
- 海外の販路の確保、海外向け販売の窓口業務
- アニメ等の他言語への翻訳サポート
- 事業者による収蔵品の商用利用の促進
- 研究用論文や発表等に対する著作権処理代行業務の実施
- 発表から一定程度経過したものの映像作品を貸し出す窓口
- 絶版になった書籍等の復刻・販売
- 国外からの問合せの窓口機能
- アニメ、マンガの製作者と企業等のマッチング・仲介
- アニメーターのハローワーク的な事業の実施
- オリジナルグッズやキャラクターの製作・販売
- アフレコした映像・音声を販売
- アニメ、ゲーム等の違法コピーに対する対応窓口の設置等のコンテンツ保護
- 他のミュージアムへのスペースの貸出し
- 大阪府立国際児童文学館との連携

- 女性や高齢者も興味を持つものにしてもらいたい

B. 施設内容・規模（112件）

- マンガも重要な芸術と気づける本当の美術館のような場所も必要
- マンガ家達のあこがれ、手塚治虫達がいた「トキワ荘」を忠実に再現
- ジブリ・ガンダム・ドラえもんあたりを中心に名シーンを原寸で再現したテーマパークとグッズ販売（市販品等）
- 話題性の高いマンガ、アニメ登場物の1/1サイズ立体物を展示できる規模
- 建物（少なくとも内装）を、著名なアニメの建物や乗り物内部の構造物のシミュレーションにする
- 大きなスクリーンで高解像度の映像音響機器を用意
- 3D映像機器の設置
- 試写会のできる小さな映写ホールも必要
- 日本の版權物でディズニーランドのようなアミューズメント施設を作る
- 展示系統としてではなく、メインは保存収集のための施設
- 建物の大部分を収蔵と研究用施設にあて、展示は規模を質で補う
- 漫画制作、アニメーションスタジオなどへスペースを安価に提供できる施設
- アートビレッジ的に若手クリエイターの活躍を支援する施設
- 若手クリエイターやさまざまな企業が意見を出し合えるスペースを提供
- コミックマーケットのようなイベントが、格安で、比較的ゆるい条件で開催できる巨大なイベントホールがあれば良い
- ショップの充実が必要
- 既存の建物を有効活用（20件）
- 外国人観光客が行きやすい場所とすべき
- 設立場所についての具体的提案
（秋葉原、お台場、中野区又は練馬区、大阪、京都などの関西圏、東京以外の地方など）
- カフェもつくってほしい。

C. センターの管理運営（83件）

- 民間委託すべき（11件）
- 天下りは禁止（5件）
- 収入源は「入場料収入」、「スペースの貸付収入」、「グッズ販売による収入」
- ホール名の命名権を売ることも考えてよい
- 著作権を代行し、国内外での普及を促進させる
- 公益法人（財団法人、社団法人、NPO法人）による管理運営
- 万博のパビリオン形式で関連企業が自己資本で出資

- 費用は一定水準の額を継続的に国が負担する必要があり、加えて著作権保護などに熱心な出版社、メディアからは文化振興の名目で運用費用を出してもらう
- 他の国立の美術館・博物館と同程度に国が関与

D. その他全般（230件）

- アニメ制作関係者の地位向上
- 低予算、低経費で運営すべき
- デジタルメディア企業に限定した工業団地をつくる。
- アニメーションスタジオの誘致
- アニメーターの労働環境改善への予算の見直し
- 作品の違法コピー防止対策
- マンガの作成現場への予算がいくよう工夫する。
- アニメ、CG 作品制作現場への助成
- 全般的な企画提案（57件）
- 不要である。（34件）